

UltiMaker Cura 利用ガイド

1. 概要

FABスペースのUltiMaker S7・S5 / AnkerMake M5 でプリントを行うためには、出力するためのスライスデータを準備する必要があります。「UltiMaker Cura」を推奨のスライスソフトとしています。このガイドでは、「UltiMaker Cura」の使用方法を記載しています。

2. インストール

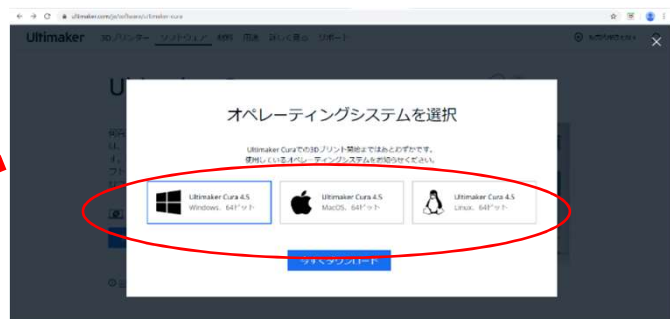
UltiMakerのホームページからインストールを行ってください。インストール用のページは以下になります。

<https://ultimaker.com/ja/software/ultimaker-cura>

「無料ダウンロード」をクリックします。



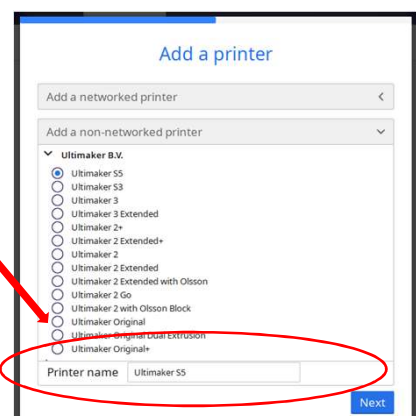
使用するOSを選択してください



利用する3Dプリンターを選択する画面では「Add a non-networked printer」から「UltiMaker S7」、「UltiMaker S5」または「AnkerMake M5」を選択してください。

※「UltiMaker S5」用にスライスしたデータは「UltiMaker S7」でも出力できますが、「UltiMaker S7」用のデータは「UltiMaker S5」では出力できませんのでご注意ください。

※「AnkerMake M5」を選択するためにはUltiMaker Curaのバージョンが5.3以上である必要があります。



3. UltiMaker Cura の使い方

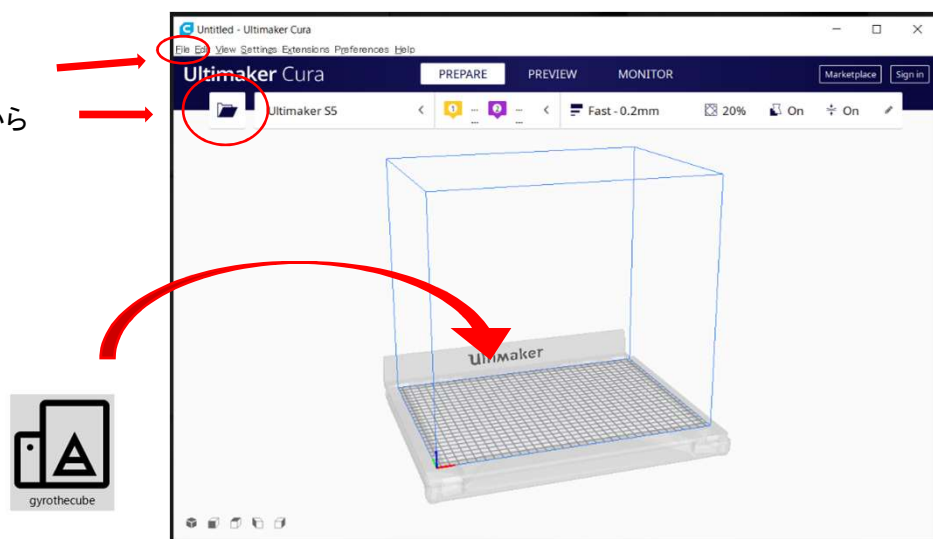
UltiMaker S7・S5 / AnkerMake M5 でプリントするためには、用意した3DデータをUltiMaker Curaに読み込み、様々な設定を調整し、3Dプリンターで出力するためのスライスデータとして書き出す必要があります。

1) 読み込み

UltiMaker Cura に3Dデータを読み込ませるには、左上のフォルダーアイコンか、左上のメニューのFileからプリントしたい3Dデータを読み込ませます。あるいは、3Dデータをドラッグしてステージ画面に持ってきて読み込み可能です。

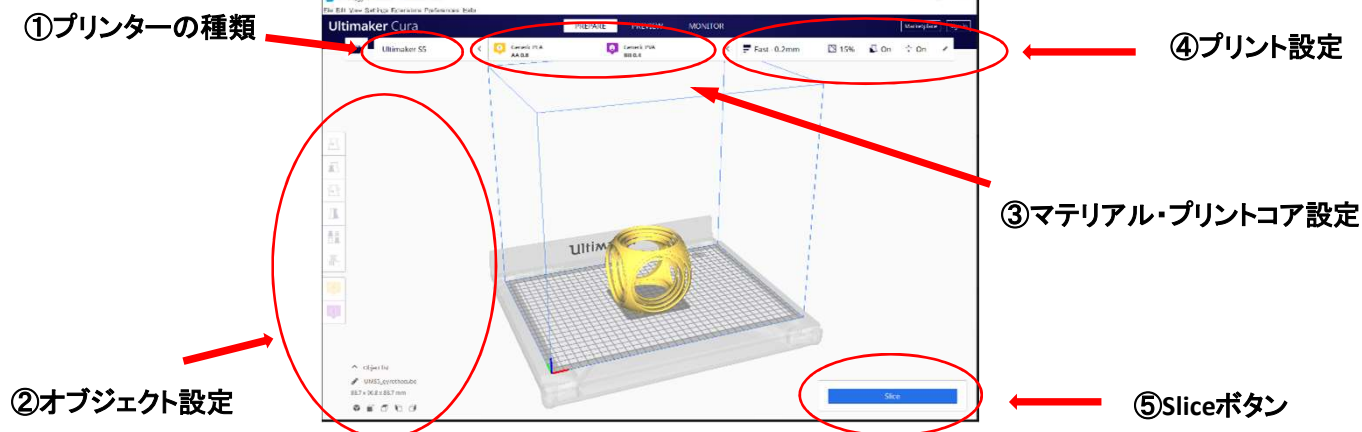
フォルダーアイコンか、
「File」→「Open File(s)」から
3Dデータを選択する

または、データを
ドラッグさせる



2) 調整

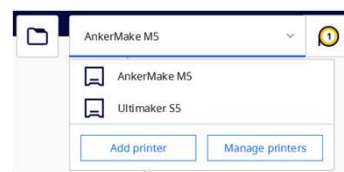
UltiMaker Cura に読み込ませた3Dデータ(オブジェクト)に対して、以下の①～⑤の5つの項目を調整していきます。



2) 調節

①プリンターの選択

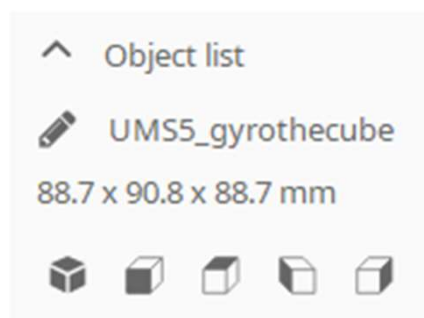
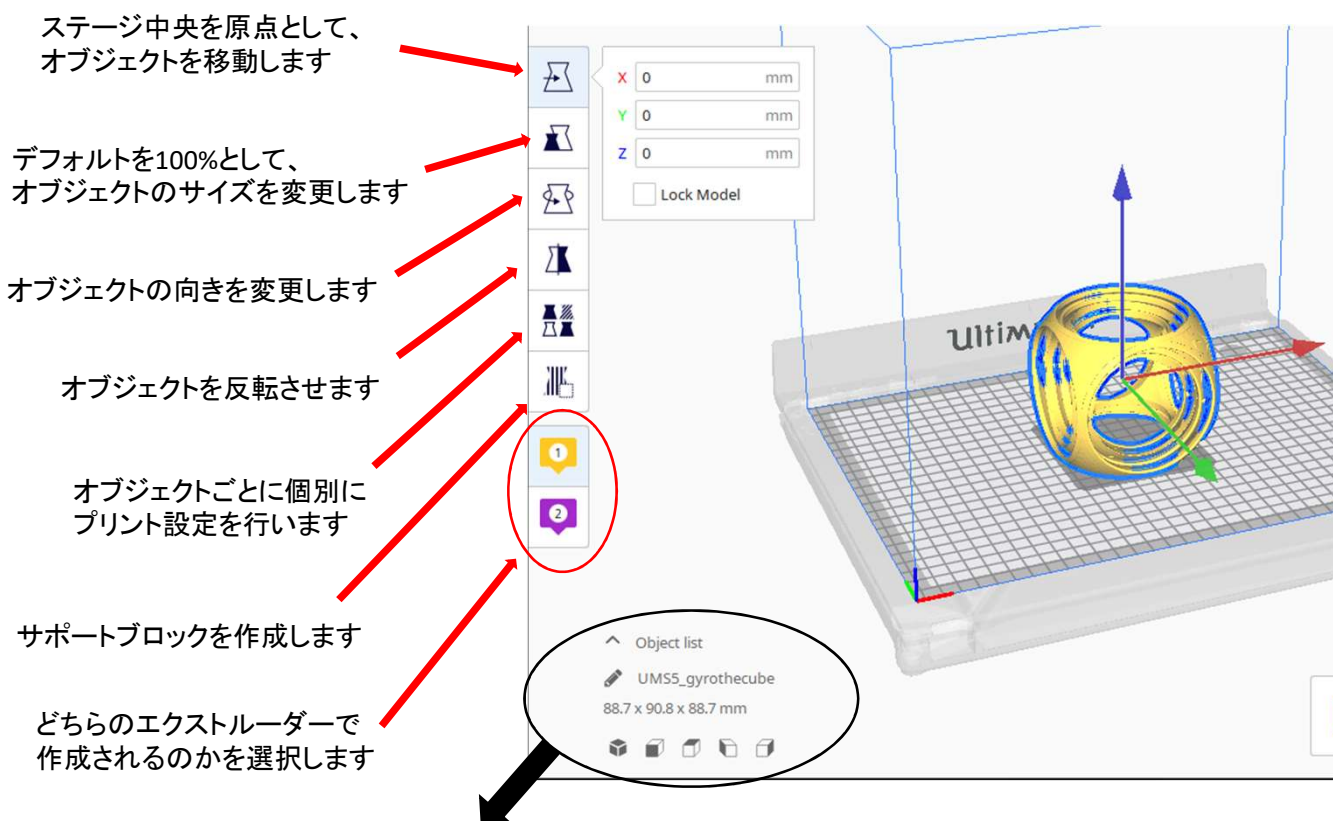
出力を行いたい3Dプリンターの種類を設定します。
「UltiMaker S7」、「UltiMaker S5」または
「AnkerMake M5」を選択します。



※「Makerbot Replicator +」には対応しておりません。

②オブジェクト設定

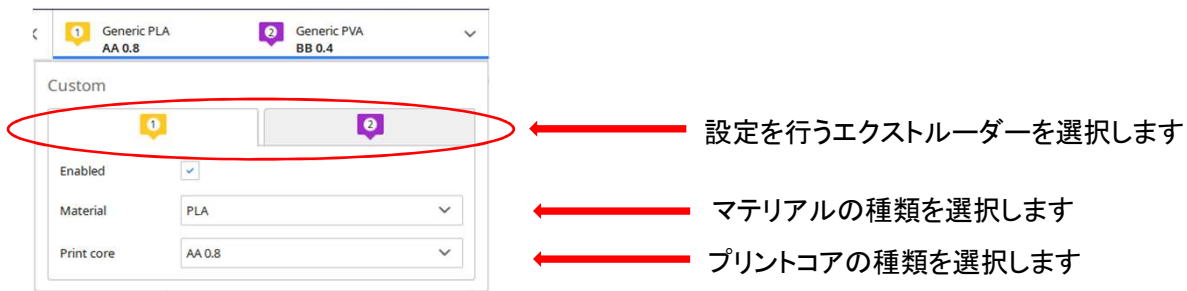
調整したいオブジェクト(読み込ませた3Dデータ)をクリックして選択することで、画面左端のオブジェクト設定メニューが有効になります。



- ← ステージ上のオブジェクト名を表示します
- ← プロジェクト名を変更します
- ← オブジェクト全体のサイズが表示されます
- ← 視点を変更することができます

③マテリアル・プリントコア設定

使用するプリンターに対応した素材(マテリアル)とプリントコアを設定します。



※UltiMaker S7・S5 /AnkerMake M5で利用可能なマテリアル・プリントコアは以下の通りです。

UltiMaker S7・S5

エクストルーダー1

マテリアル・・・PLAまたはTPU、プリントコア・・・AA0.4

エクストルーダー2

マテリアル・・・PVA、プリントコア・・・BB0.4

AnkerMake M5

マテリアル・・・Generic PLA

※プリントコアの設定項目は無し

2)調整

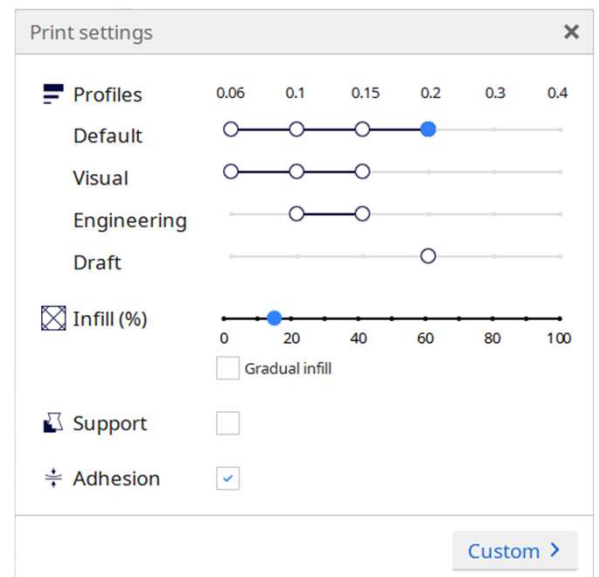
④プリント設定

プリントの出力設定を行います。設定は簡易設定と詳細設定の2種類あります。

<簡易設定>

必要最低限の項目を調整することができます。

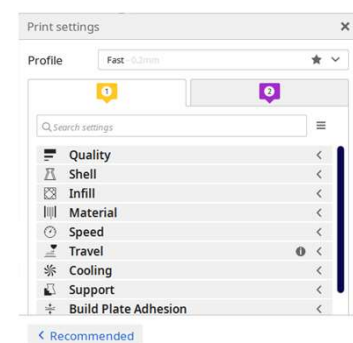
- Resolution・・・プリント時の一層ごとの厚さを設定します。
単位はmm。厚さが薄いほど精度が高く、出力に時間がかかります。
- Show Custom・・・詳細設定メニューに移ります。
- Infill・・・出力物の中に支持材(インフィル)が詰まっている割合を調整します。
- Support・・・下に何も無い部分に対してサポートを作ります。
- Adhesion・・・ステージへの密着度を高くし、反りにくくします。



<詳細設定>

より細かいプリント設定の調整が必要な場合は詳細設定から調整が可能です。

※初心者の場合は簡易設定のみでの調整を推奨します。

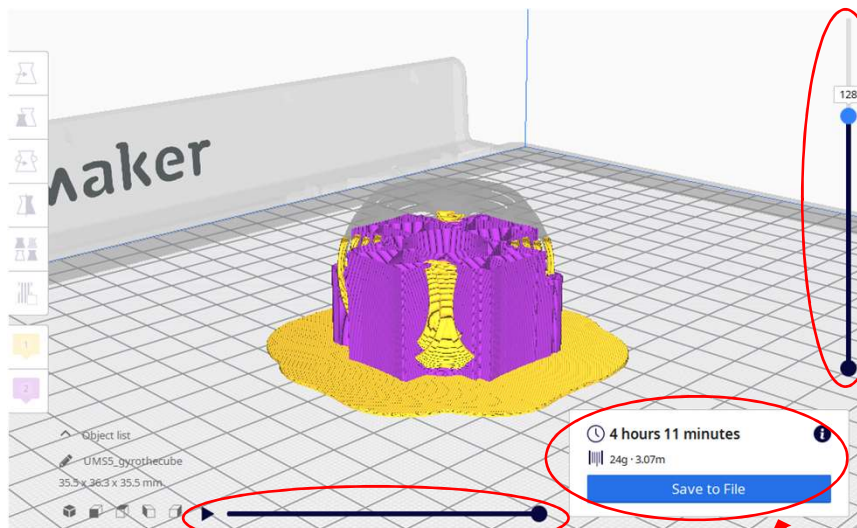
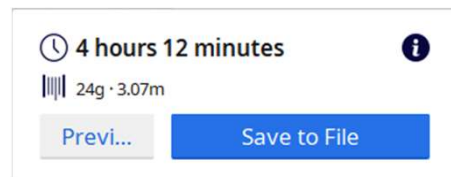


2)調整

⑤Sliceボタン

プリント設定が完了したら、⑤Sliceボタンをクリックします。
正しく出力できる場合は右の写真のように
出力にかかる時間の目安が表示されます。

Previewボタンを押すと、どのように
プリントされるのかを確認することができます。



レイヤーがどのように
形成されていくのかを
確認できます。

ラインがどのように
形成されていくのかを確認できます。

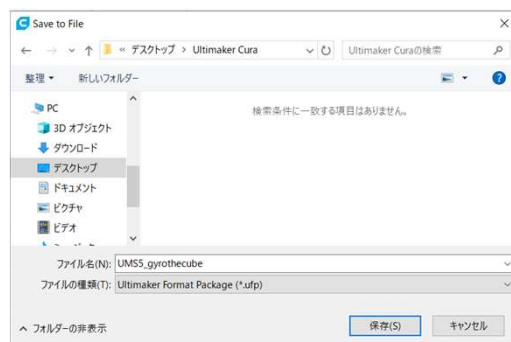
出力時間はUltiMaker S7・S5は5時間以内、
AnkerMake M5の場合は実際の出力時間と誤差が
生じることがあるので4時間以内に収まるように設定してください。
スライスに問題が無ければSave to Fileボタンをクリックします。

3)書き出し

Save to Fileボタンをクリックして
データを以下の形式で保存します。

UltiMaker S7・S5・・・UltiMaker Format Package (.ufp)

AnkerMake M5・・・.gcode



UltiMaker Cura の基本的な使い方は以上になります。

書き出したスライスデータをUltiMaker S7・S5 / AnkerMake M5から
出力する方法は「UltiMaker S7 利用ガイド」、「UltiMaker S5 利用ガイド」、
または「AnkerMake M5 利用ガイド」をご確認ください。